

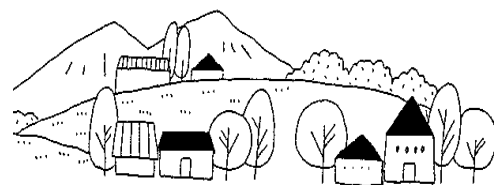
# 9月議会

## 集中豪雨の災害対策費 7200万円を即決

9月7日の本会議にて、8月14日の集中豪雨の災害復旧費として、7200万円を即決で決定しまし

た。工事は、災害後、すぐにおこなわれています。道路橋梁等災害復旧費5000万円、公立学校施設

設災害復旧費2000万円、災害対策用資材200万円となっています。



### ■道路橋梁等災害復旧費

河川護岸崩壊	6箇所 補正額小計	4300万円
	・がらと川①右岸郡津二丁目(倉治橋付近)	300万円
	②右岸倉治八丁目	1000万円
	③左右岸倉治七丁目 (桜堤線、交野久御山線よりJR側100m付近)	1000万円
	・幾野六丁目水路④右岸	400万円
	・私部北川⑤左岸向井田三丁目	500万円
道路陥没	6箇所 補正額小計	400万円
	・がらと川①左岸郡津二丁目(倉治橋付近)	50万円
	⑦右岸倉治八丁目	50万円
	・傍示⑧2箇所	100万円
	・星田九丁目⑨	200万円
里道陥没	1箇所	100万円
・妙見坂三丁目⑩		
法面崩落	1箇所	200万円
・藤が尾五丁目⑪		

### ■公立学校施設災害復旧費

学校名	被害状況	内容	金額
郡津小学校	落雷被害	放送設備(緊急放送設備含む)非作動修繕	2000万円
		チャイム非作動修繕	
		電気錠非作動修繕	
交野小学校	床上浸水被害	廊下・印刷室・配膳室床材剥離等修繕	
		図工室・保健室床板剥離等修繕	
倉治小学校	雨漏り被害	体育館床材剥離等修繕	
		体育館屋上排水修繕	
	落雷被害	インターホン非作動修繕	
星田小学校	床上浸水被害	ランチルーム床材剥離等修繕	
	落雷被害	インターホン非作動修繕	
藤が尾小学校	落雷被害	チャイム非作動修繕	

### 平成23年度決算

## 2億9千万円の黒字、 基金も積み増し!

平成23年度決算は、実質収支額が2億9371万5千円の黒字となり、基金も8700万円増加し34億1200万円となりました。

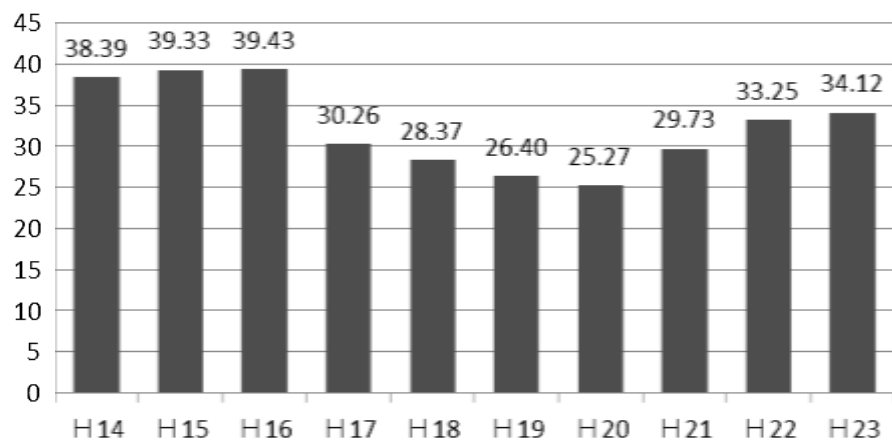
黒字となった主な要因は、歳入において市税や地方交付税が、当初予算額を大きく上回ったことにあります。

同時に、この間にゆうゆうバスの削減、高齢者のがん検診有料化、学校警備員廃止などの市民サービス削減、職員削減なども要因となっています。

平成23年度の決算審査は、10月29日から11月1日まで決算委員会にて行われます。日本共産党からは、中上議員・さらがい議員が審査にあたります。

基金推移表

(単位：億円)



日本共産党は、暮らしの安心・安全、教育・福祉の向上のために、予算をしっかりと使うことを求めています。

